

# ゆざわジオパーク ジオサイト案内書 2



太平山から見た三関扇状地



おの  
**小野** ・  
ジオサイト03

よこぼり  
**横堀** /  
みつせき

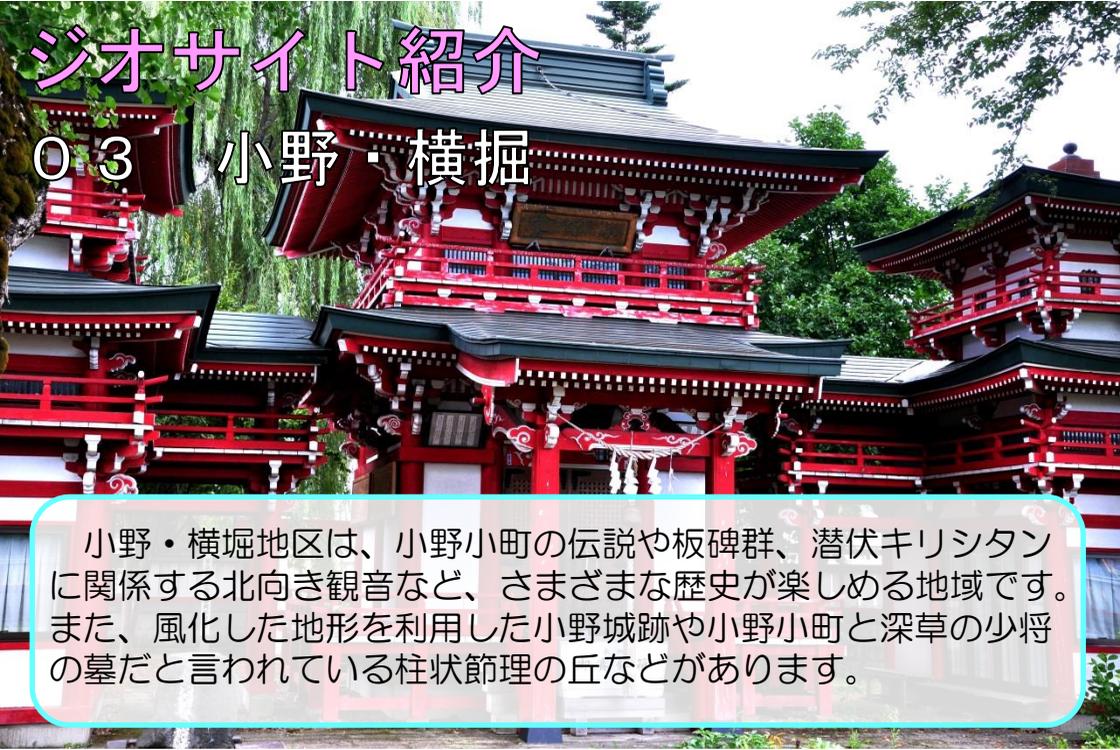
すかわ  
**三関** ・ **須川**  
ジオサイト15

## 小野小町伝説と豊かな扇状地

湯沢市ジオパーク推進協議会

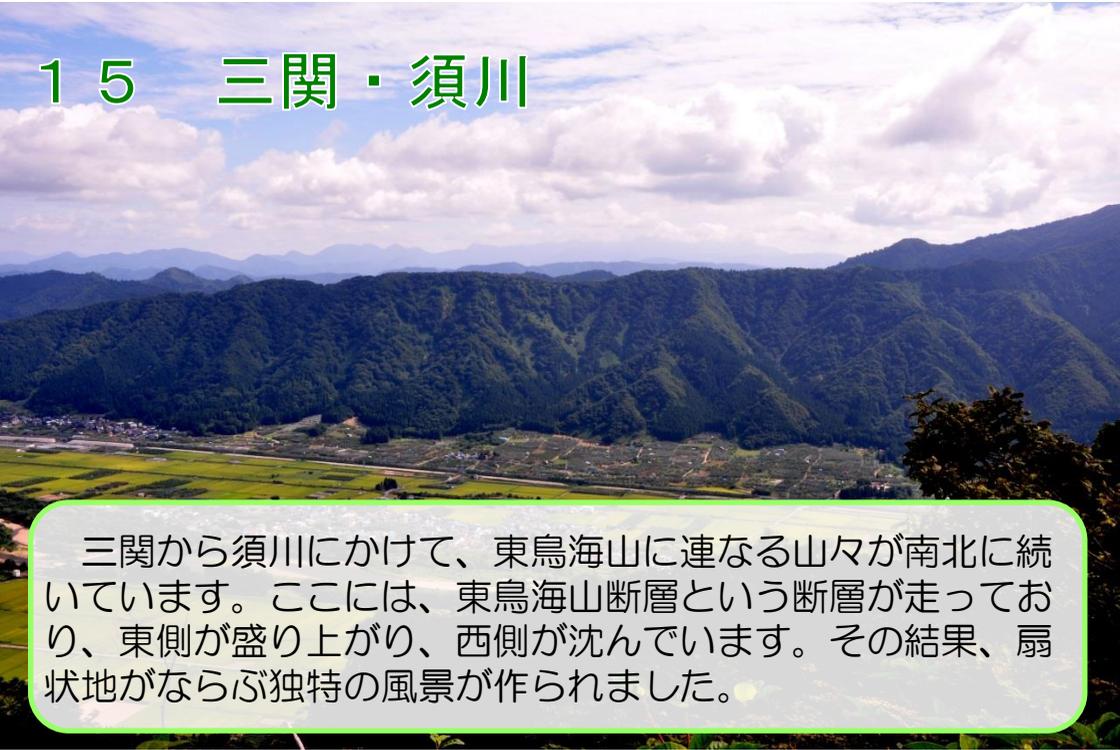
# ジオサイト紹介

## 03 小野・横堀



小野・横堀地区は、小野小町の伝説や板碑群、潜伏キリシタンに関する北向き観音など、さまざまな歴史が楽しめる地域です。また、風化した地形を利用した小野城跡や小野小町と深草の少将の墓だと言われている柱状節理の丘などがあります。

## 15 三関・須川



三関から須川にかけて、東鳥海山に連なる山々が南北に続いています。ここには、東鳥海山断層という断層が走っており、東側が盛り上がり、西側が沈んでいます。その結果、扇状地がならぶ独特の風景が作られました。

# ①小野小町伝承



小町が彫ったと伝えられる小町の木像（向野寺）

小野地区には、平安時代の歌人・小野小町に関する伝説が伝えられています。小野小町の伝承は、全国各地にあります。ゆざわのそれは、出生から92歳で亡くなるまでのストーリーが伝わっています。

ゆざわに伝わる小野小町伝説は、文献によって細かい部分が異なります。

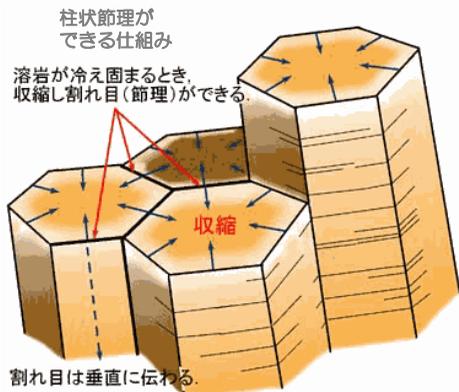
ここでは、小野小町に關係すると言われていた寺社仏閣や遺物などについて、ご紹介いたします。

ふたつもり  
○ニツ森



ニツ森は、小野小町と小町を愛した深草少将の墓だと伝えられている場所です。その名のとおり、二つの小さな丘が連なった場所で、女森には小町が、男森には深草少将が埋葬されていると言われています。

しかし実際は、墳墓でなく岩石の中にある鉱物の形から、火山から噴出した溶岩が固まってできたのではないかとされています。岩石が冷えて固まる時に収縮したため、規則正しい割れ目（柱状節理）ができました。



ニツ森の柱状節理

いわやどう

## ○岩屋堂



岩屋堂のなかに入ることできる

こまちどう

こまち

## ○小町堂と小町まつり

上：春の小町堂  
左：小町娘

岩屋堂の天井の岩石は硬く、洞窟を作る岩石はやわらかいです。比較的やわらかい岩石が浸食されて、穴になったと考えられます。

小町が晩年に、世を避けて住んだ場所で、亡くなるまでここで過ごしたと言われています。

小町堂には、小野小町が神様として祀られています。小町堂では、毎年6月の第2日曜日に「小町まつり」が行われています。市内に在住・在勤している若い女性のなかから選ばれた小町娘が、小町を模した衣装に身をつつみ、和歌を奉納します。

おのじょうし

## ②砂の山に出来た小野城址



深さ10m以上もある堀切

小野城址がある山は、今から1億年前に地下で出来た岩石（花崗岩）です。長い年月をかけて隆起し、雨や空気により風化し砂に変わってしまいました（真砂土）。

そのため、800年も昔に鍬（くわ）と鋤（すき）だけで写真のような大きな溝（空堀）を掘りました。現在、秋田県でも珍しい遺構になっています。

### ③おしら様の枝垂れ桜



ライトアップされた「おしら様の枝垂れ桜」

きたむきかんのん

### ④北向観音



子供を抱いた姿の北向観音

いたびぐん

### ⑤横堀の板碑群



応永年間（1394年から1427年までの間）に作られた板碑

横堀赤塚地区の白山神社の境内にある桜は、神社の通称「おしらさま」から、「おしら様の枝垂れ桜」と呼ばれています。2007年に湯沢市の天然記念物に指定され、2009年には、秋田県景観百選にも選ばれています。また、東北・夢の桜街道にも選ばれています。

北向観音像は、横堀寺沢地区の小高い丘の上にあります、その名のとおり、北にある秋田市の方向を向いています。

1624年（江戸時代前期）6月20日、秋田市の久保田城外で、寺沢村在住のキリシタン15名が処刑されました。

北向観音は、処刑された信徒を見つめるように安置されたといわれています。

役内川に沿って、鬼首峠に向かう国道108号線の旧街道に沿うように、板碑（いたび）や磨崖碑（まがいひ）があります。江戸時代のはじめに羽州街道が整備されるまで、主要な街道だったと考えられます。

板碑は、追善供養（ついぜんくよう）と逆修供養（ぎやくしゅうくよう）のために作られたものです。次項から紹介する三関地区にも多数の板碑があります。

せきぐちいし

## ① 関口石

関口石は比較的均一な砂岩で、小石や泥をほとんど含んでおらず、細かいしま模様（ラミナ）が発達しています。

ラミナを水平にした台座などでは、風雪で細かい凸凹（おうとつ）が形成され、きれいなしま模様が現れます。庭園の置石や台座などの工芸品に適しています。



上：仁王像

下：関口の石材街道

せきざいかいどう

## ② 石材街道

関口石は、古くから湯沢・雄勝地方で墓石や炉、釜、ひき臼、記念碑、彫刻、神仏像などにも使われてきました。旧・羽州街道に沿って、現在も石材業者が軒を連ねています。



せんじょうち とくさんひん

## ③ 扇状地と特産品

東鳥海山に連なる山々に沿って、東鳥海山断層があり、断層崖（だんそうがい）と呼ばれる急な崖が見られます。その崖の下には、水はけの良い扇状地が広がっています。

扇状地の特性を利用して、三関ではさくらんぼの栽培が盛んに行われています。また、三関せりや関口なすなど、湯沢市特有の野菜もつくられています。



三関の扇状地と特産品（さくらんぼ・せり・なす）

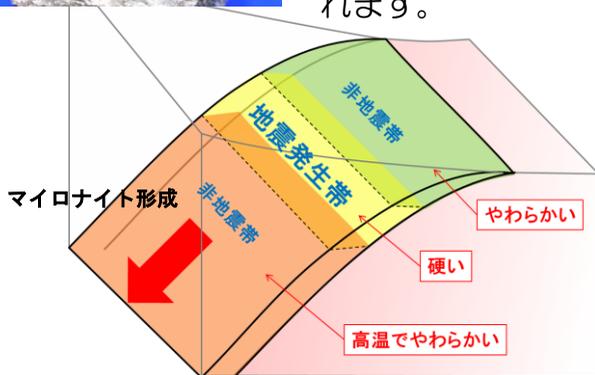
ふもとざわ

## ④ 麓沢のマイロナイト



地面の深いところは、高温でやわらかいので、岩石に力を加えると、割れずに少しずつ流動するように変形します。

マイロナイトはこのようにして形成されます。



湯沢のマイロナイトは、約7,600万年前にできたと言われ、この時代に、湯沢の大地は大きく動きました。そのため、湯沢にはその名残を手にとって見ることが出来る場所があります。

なお、マイロナイトは、秋田県において、湯沢市以外の場所ではほとんど見ることができません。

しず

## ⑤ くぞわたの清水



非常に湧出量の多い清水で多量のミネラルを含む、おいしくまろやかな水です。

名前の由来は、「秋の七草のひとつである『葛(くず)』を表す方言」という説と、「この地域に住んでいた『久蔵』という人が、綿入りの着物を着て見つけた」という説があります。

## その他のみどころ



東鳥海神社 遥拝殿



東鳥海山

# 案内図

## 小野・横堀 ジオサイト03



## 三関・須川 ジオサイト15

